

KiKiの広場

2014年 5月 1日

cafe NO.43
KiKi



今年もジャスミンの季節になりました。ジャスミンの蔓も、昨年の今頃はまだ入り口のアーチの半分くらいのところまででしたが、今ではすっかりアーチをおおいつくし、赤に近いピンク色の蕾をいっぱいつけています。もうすぐ白くて可憐な花と共に、いい匂いを楽しませてくれることでしょう。

5月の予定	
臨時営業	4日(日)
臨時休業	6日(火)
休館日	13日(火)
定休日	毎日曜日



「今月のケーキ」・・・「ストロベリーケーキ」350円

しっとり感のあるスポンジに、甘さを控えたいちごクリームをはさみ、ダイスカットのいちご果肉をトッピング。新鮮ないちごと、たっぷりの生クリームを味わいながら、季節感もお楽しみください。



今月のお気に入り・・・「母の想いを感じる絵本～お母さん大好き！」

～「ちょっとだけ」「いいこってどんなこ?」「おかあさんがおかあさんになった日」「ミリー天使にであつた女の子のお話」など～



お姉ちゃんになって精一杯頑張っている「なっちゃん」の「ちょっとだけ」って何だと思いませんか？
なっちゃんの気持ち、お母さんの想いがぎゅーっと詰まっていて、周りにある全てのものを抱きしめたくくなるような本です。

「ミリー 天使にであつた女の子のお話」は、ヴィルヘルム・グリムが、母を亡くした少女ミリーに宛てた手紙の後に、書かれてあつたお話だそうです。「では、聞いて、ミリー」という優しい言葉で物語は始まります。娘を守る為に離れ離れになつた母と幼い娘、わが子への愛と平和への祈りを感じながらラストシーンは、ぐっと胸にきます。150年ぶりに世に出ることになり、「かいじゅうたちのいるところ」のモーリス・センダックが、5年の歳月をかけて絵をつけたという美しい本です。



今月の本棚・・・「いぬが出てくる絵本」

～「ずーっとずっとだいすきだよ」「マドレーヌといぬ」「いぬおこたわり!」「ずどんといっぱつすていぬシンプだいかつやく」など



以前「ねこがでてくる絵本」の特集をしたので、今回は「いぬ」にしてみました。実は、今年のクリスマスイブの日に14年間一緒に過ごした愛犬が旅立ってしまい、いまだに彼のことを思うと涙が出てしまいます。ねこのお話は、マイペースなねこが主役の場合が多いようですが、いぬのお話は家族の一員としての物語が多いように感じます。みんなから愛されているたくさんのいぬたちのお話を、ほのぼのと味わいながら楽しんでください。



ほっとフレイク

子ども将棋教室に通っていた小学2年生のUくんが、県外に引っ越す為、残念ながらお別れすることになりました。1年生の頃は対戦してもなかなか勝てず、しょっちゅうKiKiに息抜きに来ていたUくんですが、だんだん抜け出して来るのが少なくなり、最近の登場は必ず終わってからでした。最後の挨拶に来た時、これからも将棋を続けたいと言ったUくんに、指導者の方々がエールを送られていました。

Uくんが辞めてしばらくした将棋教室の日、ある指導者の方が、「Uくん、どうしてるかなあ、って、すごく気になるんです。」とぼつりと言われました。最初はいつ辞めるかなという感じだったのが、2年近く頑張っ

